

ネイティブ大腸菌L-グルタミン合成酵素

Cat. No. NATE-0321

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 グルタミン合成酵素 (GS) (EC 6.3.1.2) は、グルタミンを形成するためにグルタミン酸とアンモニアの縮合を触媒することによって、窒素の代謝において重要な役割を果たす酵素です: グルタミン酸 + ATP + NH₃ → グルタミン + ADP + リン酸。グルタミン合成酵素は、硝酸塩還元、アミノ酸分解、光呼吸によって生成されるアンモニアを利用します。グルタミン酸のアミド基は、グルタミン代謝物の合成における窒素源です。

用途 L-グルタミン合成酵素は、大腸菌からプロテアーゼを精製するために使用される場合があります。

別名 グルタミン合成酵素; グルタミルヒドロキサミン合成酵素; L-グルタミン合成酵素; グルタミン酸-アンモニウムリガーゼ; L-グルタミン酸:アンモニウムリガーゼ (ADP形成); EC 6.3.1.2; GS; 9023-70-5

製品情報

由来 大腸菌

形態 凍結乾燥粉末; リン酸カリウム、クエン酸ナトリウムおよび酢酸マグネシウムバッファー塩を含む

EC番号 EC 6.3.1.2

CAS登録番号 9023-70-5

純度 アフィニティークロマトグラフィー

活性 400-2,000 ユニット/mg タンパク質

緩衝液 H₂O: 溶解性 0.95-1.05 mg/mL、透明から不透明

代謝経路 アラニン、アスパラギン酸およびグルタミン酸の代謝、特定の生物系; アルギニンおよびプロリンの代謝、特定の生物系; 代謝経路、特定の生物系

単位定義 1ユニットは、pH 7.1、37°Cで15分間に1.0 μmoleのL-グルタミン酸をL-グルタミンに交換します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C